



元気通信

ブダペスト日本人学校

学校だより

2019年8月29日号

校長 四ノ宮 貫

【2学期の始業式にあたって】

元気な声が校舎内に戻ってきました。33日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。一昔前であれば、真っ黒に日焼けした子供たちの笑顔、というような表現が一般的であったと思いますが、最近ではそのようなお子さんは少なくなったように感じます。昨今の、紫外線との付き合い方に変化がみられるようになったためでしょう。それでも、子供たちの表情には、充実した夏休みを過ごした様子が伺えました。



今年度の2学期は例年以上に忙しくなりそうです。スタートして間もなく「開校15周年ふれあい大運動会」が開催されます。今年は練習日程が短いため、1学期の終盤から練習を取り入れてきました。夏休みの間に忘れてしまったこともあるかもしれませんが、1週間の練習期間でしっかり思い出してほしいです。11月には「ドナウ祭」があります。まだまだ先のことですが、運動会が終わるとドナウ祭の準備が始まります。運動の発表に続いて学芸の披露を楽しみにしていただきたいと思います。

開校15周年



今年の2つの大きな行事には、「開校15周年」の冠がついています。これまでも周年行事について触れてまいりましたが、行事の折にも、ブダペストの地に日本人学校が開校した経緯や、日本語環境の学校があることへの感謝を抱いていただければと思います。

日本・ハンガリー外交関係樹立150周年に当たる今年、国を挙げての公式行事も予定されており、本校の子供たちも何らかの形でお祝いの気持ちを表現する予定もあります。また、記念の年として、日本国内からもお客様が数多く来訪され、その中で本校へお立ち寄りくださる方もいらっしゃいます。このように、何かと忙しい2学期になりそうですが、日々の生活をこれまで以上に充実させ、本校の良いところを皆様にもご覧いただければと考えております。

最後になりますが、児童生徒の皆さんにお願いをひとつ。それは、「しっかりとあいさつをしよう」ということです。

お客様がいつもより多く、また、初めてお目にかかる方も多いでしょう。そういった時に、きちんと挨拶ができることはマナーとして大切なことであり、日本人学校への印象も大きく変わってくると思います。

挨拶は習慣です。いつでも自然に交わすことができるよう、日頃からしっかりと取り組んでいきましょう。



【2学期に向けて】 児童会長 6年 大崎哲生さん

今日から2学期が始まりました。1学期より期間が長い2学期。ぼくは1学期で反省したことを直したいと思います。ぼくが2学期で改善したいところが2つあります。

1つは、自分のやるべきことに集中する事です。ぼくはどうもあきっぽいので、授業中に集中が切れてしまったり、宿題もなかなか終わらなかつたりします。そのあきっぽさを直してもっと集中できるようになりたいです。

もう1つは自分にもっと自信をつける事です。授業ではよく手を挙げて発表するけ



れど、今のようにたくさんの人の前で話すのは苦手です。1学期に夏季合宿の帰校式で話をしたのですが、あまり自信をもてませんでした。それは「間違えたらどうしよう。」と思ったからです。2学期はいっぱい練習して堂々と話せるようになりたいです。

みなさんも、自分の反省を活かして、この2学期でレベルアップしてください。



【開校 15 周年記念ふれあい大運動会】に向けて

1学期の元気通信でもお知らせした通り、今年度のスローガンは「**We can do it!**～みなぎる力・燃える心～」です。運動会開催にあたり、多くの保護者の皆様にお手伝いをお願い致しました。お手伝いの方には、お子様を通じて案内の冊子を配布します。当日の朝に担当教員から、その冊子を使って説明をしますので、会場までお持ちください。運動会に関わる全員が一体となって全力で種目に取り組み、達成感を味わうことができるよう運営に努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

<ご連絡>

ご来場の際は、レジャーシートを持参することをお勧めします。なお体育館内には観覧席はありますが、急な傾斜や安全柵の低さなどから**安全上使用を制限**（表現・応援合戦のみ使用）しております。使用時は小さなお子様には十分にご注意ください。

※今年度から新しい会場になりますが、過去2年間の体育館開催と同じように考えていただければと思います。

中学部では1学期から応援合戦の準備を始めました。応援内容を考えるグループと応援旗のデザインを考えるグループに分かれ、それぞれ限られた時間の中で協力して取り組みました。2学期からは小学部の児童と共に、それぞれの組は午後一番の思いです。



声出しや振りの練習を頑張ってきました。当日は、趣向を凝らした応援内容を披露します。応援合戦種目です。それぞれの意気込みを感じて頂ければどうぞお楽しみに！

紅組 団長 渡邊 煌己さん

紅組の応援旗に描かれているフェニックス「不死鳥」は羽一つ一つが紅組一人一人を表していて、皆が燃え尽きない闘志でがんばろうという意味が込められています。「覇」の文字には、今年も白組に勝つという気持ちを込めています。

練習の時から全力で応援や競技に参加しています。本番では、練習以上の力を発揮し、優勝できるように頑張ります。



白組 団長 柴田 大輔さん

白組の応援旗には、「白虎」のすさまじい顔が描かれています。また「猛進」という文字が書かれていて、これには勢いをもって練習し、競技を行うという気持ちを込めています。

今回の白組の応援は、勢いがあり保護者のみなさんも楽しめるノリノリなものにしました。精一杯がんばりますので、どうぞ楽しみにしててください。



【編入児童生徒の紹介】

2学期から、桐ヶ谷璃紗さん（小2）、増田大誠さん（小4）中野太雅さん（小5）、増田大喜さん、（小6）北島佑香さん、中野友七さん（中1）が編入しました。始業式当日から、ふれあい大運動会に向けた練習を行い、みんな元気に頑張っています。

